

平成28年度事業報告

I 畜産経営の安定と技術の向上に関わる支援及び畜産への理解醸成を図る事業

1 畜産経営を支援する事業

(1) 畜産経営指導体制円滑化推進事業 (補助：茨城県, 継続) 公益

ア 情報誌編集発行事業

畜産に関する経営管理技術, 家畜衛生対策, 市場取引状況, イベント等, 各種情報を畜産関係者等に提供するため, 情報誌「畜産茨城」の発行を行いました。

- ・発行部数 9,000部 (年6回発行)
- ・配布先 会員, 市町村, 県関係機関, 畜産関係団体等

イ 畜産経営改善技術指導事業

安定的な畜産経営を推進するため, 畜産コンサルタント職員を5名設置し, 経営感覚に優れた畜産経営体を育成・支援しました。

(2) 地域畜産総合支援体制整備事業 (受託：茨城県, 継続) 公益

経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を育成するため, 各分野の専門家からなる経営改善指導チームの設置等, 指導体制の整備及び指導手法・内容の充実を図り, 畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する指導等を総合的に行いました。

ア 畜産経営体支援指導研究会の開催

経営診断に基づき, 畜産経営体に対する経営支援の在り方等についての検討や情報提供を行うため, 県及び関係機関を構成員とする研究会を開催しました。

- ・平成28年9月15日 茨城県 JA 会館 参加者31名

「経営診断の実施状況及びホームページによる情報提供について」

「タイベックを用いた暑熱対策技術や実証効果について」

イ 畜産経営体技術指導用機器の整備

畜産経営体に対する高度な支援指導を効率的かつ効果的に行うため, 関連機器等の整備を行いました。

ウ 畜産経営技術の総合支援指導

(ア) 個別支援指導

畜産経営改善指導チームにより, 認定農業者や将来認定農業者となりうる意欲ある経営体等を対象に, 経営改善や経営安定化を図るための効率的な支援指導を実施しました。

区分	件数	備考
経営診断改善指導	18件	酪農：4件 肉用牛：8件(繁殖4件, 肥育4件) 養豚：6件
生産技術指導	64件	酪農：16件 肉用牛：26件(繁殖12件, 肥育14件) 養豚：19件 養鶏：3件

(イ) 地域支援指導

畜産経営体、畜産関係の指導者等を対象とした経営セミナーの開催や畜産経営先進施設の現地検討会を開催し、畜産経営技術の高度化を支援しました。

現地検討会

- ・開催 平成 29 年 3 月 10 日 水戸市：鯉淵学園 参加者 36 名
- ・内容 「大規模経営による産学連携の取り組みについて」

畜産経営セミナー

- ・開催 平成 29 年 2 月 2 日 茨城町：全農いばらき会議室 参加者 58 名
- ・内容 講演「畜産の経営継承と税務について（法人化）」

にしやまゆみこ税理士事務所 税理士 西山 由美子 氏

(ウ) 畜産経営改善指導チームの設置

畜産経営体からの要請内容、畜産経営体の経営の実態等に応じた畜産経営改善指導チームを設置し、経営改善、経営安定化のための効率的な支援指導を実施しました。

- ・総括畜産コンサルタント（3 名）畜産コンサルタント（4 名）畜産経営アドバイザー（29 名）

エ 畜産経営関係情報のホームページによる提供

畜産経営体等に対する効率的かつ効果的な支援指導を行うため、情報の蓄積や提供を行いました。

農家のための経営支援事業	堆肥流通コーナー	畜産技術情報
伝染病発生情報	機関誌（畜産茨城）	本県畜産の動向
市況情報	銘柄畜産物紹介	イベント情報

- ・いばらきの畜産情報 HP 年間アクセス数 621,120 件

(3) 畜産特別資金等推進指導事業

（補助：中央畜産会，継続）**その他**

関係機関からなる県支援推進協議会の開催と、畜産特別資金借受者を対象に指導チームによる巡回指導を実施しました。

- ・畜特資金の借受者 2 件（肉用牛 1 件・養豚 1 件）

(4) 貸付事業指導等事業

（受託：畜産近代化リース協会，継続）**その他**

畜産近代化リース協会より貸付された機械施設の効率的な利用を図るため、現地確認や管理状況についての調査及び指導を行いました。

- ・管理状況調査 1 経営体 グラスシーダー 1 物件
- ・新規開拓調査 96 経営体

2 畜産技術の向上や生産基盤の整備を図る事業

(1) 良質堆肥広域流通促進事業

(補助：茨城県, 継続) **公益**

畜産農家と耕種農家の連携を強化し、堆肥生産・利用双方の情報収集や交流を進めました。また、良質堆肥の生産及び広域流通を推進することにより、資源循環型農業を促進し農畜産業の安定的発展を図りました。

ア 堆肥利用集団の組織化支援及び広域流通促進

(ア) 堆肥コーディネーターを設置し、堆肥の需給情報を収集することにより堆肥の流通・利用の促進を図りました。(堆肥に関する問合せ件数 56 件)

(イ) 堆肥コンクールを開催し堆肥の品質向上を図りました。

・平成 29 年 3 月 3 日にコンクール表彰式及びセミナーの開催

・場所 笠間市 参加者 74 名

(ウ) 堆肥の広域流通を促進するため、堆肥生産者リストを作成し、耕種農家に堆肥生産者情報を提供しました。

(エ) 県や J A 等の協力を得て、堆肥需要調査を実施するとともに特殊肥料届出を推進しました。

・調査件数 24 件 特殊肥料の届出 9 件

(オ) 堆肥の流通状況を把握するため畜産農家を対象にアンケート調査を実施しました。

・調査件数 115 件

イ 堆肥利用集団の取組支援をしました。(1 集団)

・堆肥利用実証圃設置に対する奨励金を交付 5,370 a

・堆肥利用実証圃への輸送経費補助 350 t

(2) 地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業

(補助：農畜産業振興機構, 継続) **公益**

ア 肉用牛の生産基盤を強化するため、肉用牛繁殖経営が行う高能力繁殖雌牛の導入及び増頭に資する施設整備の取り組みに助成しました。

・中核的担い手増頭推進 12 集団 225 頭

・優良繁殖雌牛導入支援 1 集団 8 頭

・増頭に資する施設整備 4 集団 12 施設

イ 災害緊急支援対策事業

平成 28 年台風第 7 号等により被害を受けた生産者を支援するため、畜産施設の補改修の費用を助成しました。

・対象 1 集団

(3) 銘柄畜産物ブランド支援事業

(補助：茨城県, 継続) **公益**

県内養豚農家の種豚の能力向上を推進するため、県養豚研究所で造成された系統豚「ロ

ーブル-3」による種豚の更新に対し助成しました。

・戸数 13戸 153頭

(4) 畜産経営指導体制円滑化推進事業 (補助：茨城県, 継続) **その他**

ア 家畜改良支援事業

本県の優秀な種畜の血統の保持と能力向上を図り、子豚登記及び種豚登録を推進するため子豚登記検査員研修会を開催しました。また、養豚経営安定対策事業申請手続きに係る生産者への支援等を推進しました。

イ 畜産協会組織強化事業

畜産情勢の変動に対応した指導支援を実施するため、常勤役員及び畜産アドバイザーを設置し、畜産協会の組織執行体制の強化を図りました。

(5) 家畜登録推進事業 (単独, 継続) **その他**

県、市町村及び関係団体の協力を得て種豚登録、子豚登記を積極的に実施するとともに系統豚の認定規定に関する証明を行いました。

・種豚登録 234件 子豚登記 745件 一代雑種血統証明 751件

(6) 畜産共進会開催事業 (補助：茨城県, 継続) **その他**

家畜の改良増殖を促進するため、広域的な共進会（関東肉牛枝肉共進会、全日本ホルスタイン共進会）について、開催経費の一部を助成しました。

(共進会開催)

共進会名	実施団体	開催場所	期日
第57回関東肉牛枝肉共進会	茨城県家畜商業協同組合	東京都中央卸売市場食肉市場	平成28年9月14日～16日
第18回関東地区ホルスタイン共進会	茨城県酪農業協同組合連合会	埼玉県農業技術研究センター玉井試験場	平成28年11月22日～23日

(7) 繁殖雌牛整備推進事業 (受託：茨城県, 継続) **その他**

優良繁殖雌牛群の整備を推進するため、肉用牛繁殖農家を対象に繁殖雌牛育種価分析値にもとづく支援を実施しました。

・対象戸数 411戸 育種価判明頭数 2,844頭

(8) 乳用種初生牛の経営調査事業 (受託：中央畜産会, 継続) **その他**

酪農経営を対象に、経営の概況及び乳用種初生牛の生産費調査を行いました(5戸)

(9) スマートフィーディング実証事業 (受託：草地協会，継続) **その他**

自給可能な国産粗飼料・国産濃厚飼料の利用拡大のため行う実証への支援及びモデル実証等に要した経費に関する現地，書類等の確認を行いました。

- ・現地確認件数 5件 (肉用牛4，酪農1)

(10) 畜産関係団体調整機能強化事業 (受託：中央畜産会，継続) **その他**

若手畜産農家や後継者を中心とする農業者ネットワークを構築し，相互の交流及び情報交換のための研修会を開催しました。

- ・開催 平成29年3月27日 茨城町：全農いばらき会議室 参加者 74名
- ・内容 肉用牛研修会

(11) 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業 (受託：中央畜産会，継続) **その他**

中央畜産会が運用する分析システム (cowINFO・pigINFO) を利用し，ベンチマーク手法による技術レベルの把握と他経営との比較を行うとともに，技術差の原因究明及び改善指導を実施しました。

- ・実施件数 29経営体 (肉用牛23 養豚6)

(12) 畜産振興対策事業 (単独，継続) **その他**

県及び国等に対する畜産行政施策の要請活動や共進会等への協力や支援及びその他畜産振興に係る事業を行いました。

ア 畜政活動

県内の畜産関係団体及び中央畜産会等との連携を図りながら，畜産行政施策に係る提言や要請活動を行いました。

イ 生産流通促進

畜産関係団体が開催する各種共進会やオークション等に支援しました。

ウ 事業円滑化推進

円滑な事業推進を図るため，関係機関及び畜産関係団体との調整・協議を行いました。

(13) 畜産大賞選定事業 (単独，継続) **その他**

- ・平成29年2月27日に畜産大賞審査委員会を開催
- ・場所 畜産センター 審査委員 4名

(受賞者概要)

受賞部門	受賞区分	受賞者	受賞内容
地域振興	最優秀賞	(有)ファームオアシス	地域の耕畜連携に寄与するとともに、国内のみならず海外からの視察に積極的に対応し、常陸牛ブランドの向上に貢献
	優秀賞	宮本 守正	JA つくば市谷田部肉牛部会として、品質向上に熱心に取り組み、常陸牛のブランド向上・発展に貢献
	優秀賞	七会村 小勝和牛改良組合	城里町内の公共牧場（小勝）を利用し、県内に黒毛和牛子牛の供給を行い常陸牛のブランド力向上・発展に貢献

(14) 銘柄畜産物ブランド支援事業（常陸牛輸出促進）

（補助：茨城県 受託：茨城県常陸牛振興協会，継続） **その他**

常陸牛の輸出とブランド力向上のため輸出販売促進員を設置し、東南アジア等を中心に常陸牛の輸出を促進しました。

- ・常陸牛輸出販売促進員 1名
- ・新規常陸牛海外販売推奨店 タイ3店舗 ベトナム1店舗

(15) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査事業

（受託：中央畜産会，継続） **その他**

畜産クラスター事業推進のために必要な指標データとして活用するために、本県の先進的な経営体を対象として経営内容に係る調査・取りまとめを行いました。

- ・調査戸数 6戸（肉用牛4，酪農2）

(16) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

（受託：中央畜産会，継続） **その他**

畜産クラスター計画等に基づき、地域の収益性向上等に必要な機械リース導入の円滑な実施を図るため、事業の推進業務を実施しました。

	要 望			採 択		
	協議会数	経営体数	機械数	協議会数	経営体数	機械数
H28 第1回	1 2	1 3 5	2 8 4	1 2	8 3	1 6 5
H28 第2回	1 2	7 2	1 5 0	9	2 7	3 1
H28 補正分	1 3	7 3	1 0 8	1 2	4 0	5 0

(17) 畜産・酪農生産力強化対策事業（家畜生産性向上対策）

（受託：中央畜産会，継続）**その他**

家畜生産性向上を図るため，家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるための家畜・酪農の生産性データ等の収集・分析，技術指導を実施しました。

- ・対象戸数 5 戸（肉用牛 3，酪農 2）

(18) 和牛生産基盤強化対策事業

（補助：茨城県，新規）**その他**

和牛生産基盤の強化のため，規模を拡大する繁殖農家が行う繁殖雌牛の導入に要する経費の一部を助成しました。

- ・繁殖雌牛の導入 10 集団 100 頭

(19) 養豚経営安定対策補完事業

（補助：農畜産業振興機構，新規）**その他**

産子数の向上や配合飼料の節減など生産コストの低減を図るため，一代雑種雌豚の導入に要する経費の一部を補助しました。また，台風第 9 号により被災した茨城県内で養豚業を営む者に対し豚舎，飼養管理の付帯施設・機械の補改修等に対する緊急支援を行いました。

- ・種豚導入 11 集団 734 頭
- ・台風被災補改修支援 7 人 24 施設

3 畜産の理解醸成を図る事業

(1) 畜産振興補助事業

（補助：地方競馬全国協会，継続）**公益**

畜産農家に対する経営診断及び後継者育成等を通して畜産経営の安定化を図るとともに，県産畜産物の PR 活動等により，消費者に対する畜産への理解醸成を図るための下記事業を推進しました。

ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

(ア) 茨城県地域畜産総合支援体制整備事業

- ・経営指導等戸数 82 戸

(イ) 元気な農山村創生チャレンジ事業

- ・若手生産者の婚活イベントを開催 参加者 20 名（男性 8 名，女性 12 名）

(ウ) 繁殖雌牛整備推進事業

- ・繁殖雌牛育種価分析支援 戸数 411 戸

イ 地域畜産の活性化，安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

(ア) 地域畜産物活用学校給食支援事業

- ・小中学校（特別支援学校を含む）を対象に県産豚肉を提供 18,806 食

(イ) 畜産活性化対策事業

・ちくさんフードコレクションへの出展 来場者約 21,000 名

・畜産センター公開デーへの出展 来場者約 2,000 名

(ウ) 銘柄畜産物ブランド支援事業

・「常陸牛」, 「ローズポーク」など県銘柄畜産物のブランド力及び品質向上を支援しました。

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

(ア) 地方競馬支援対策事業

・「オフトひたちなか」にて畜産フェアを開催 来場者約 1,700 名

(2) 常陸牛情報発信事業 (受託：茨城県常陸牛振興協会, 継続) **その他**

銘柄和牛「常陸牛」の知名度向上と消費拡大を図るため、インターネットを活用した情報発信を行いました。

ア 常陸牛ホームページを活用した広報宣伝

指定店・推奨店の情報やイベント情報の発信

イ 常陸牛ホームページの運営管理

- ・ページアクセス数 110,646 件/年
- ・広告インプレッション数 431,128 件/年
- ・プレゼントキャンペーンの実施 2 回 (応募数 1,355 件)

(3) 畜産活性化対策事業 (単独, 継続) **その他**

県産畜産物の消費拡大を図るため、イベント参加とインターネットを活用した情報発信を行いました。

ア 県内各地のイベント等において県産畜産物のおいしさ, 安全・安心をPRしました。

平成 28 年 9 月 24・25 日 畜産フードコレクション (三の丸庁舎特設会場)

平成 28 年 10 月 10 日 畜産フェア (オフトひたちなか)

平成 28 年 10 月 29 日 畜産センター公開デー (畜産センター)

イ ホームページ等を活用し, 情報発信と宣伝広告を行いました。

II 家畜・畜産物の衛生対策を支援する事業

1 防疫体制の整備を図る事業

(1) 自衛防疫強化総合対策事業 (補助：茨城県, 継続) **公益**

自衛防疫を円滑に実施するため, 地域単位での自衛防疫推進会議を開催しました。また,

家畜衛生に関する資料を作成し、情報提供による衛生知識の普及向上を図りました。

ア 自衛防疫推進会議

期 日	場 所	参加者	期 日	場 所	参加者
平成 28 年 4 月 26 日	銚田市	20 名	平成 29 年 3 月 3 日	水戸市	31 名
平成 28 年 5 月 9 日	土浦市	35 名	平成 29 年 3 月 8 日	筑西市	25 名
平成 28 年 5 月 10 日	筑西市	31 名	平成 29 年 3 月 9 日	銚田市	16 名
平成 28 年 5 月 12 日	水戸市	45 名	平成 29 年 3 月 14 日	土浦市	27 名

イ 広報事業

衛生知識の普及と病原体侵入リスク低減を図るため、印刷物等を作成し配布しました。

- ・「知っていますか？牛ウイルス性下痢・粘膜病」チラシ 1,500 枚
- ・衛生管理区域の出入口用「立入禁止」看板 2,000 枚

(2) 地域自衛防疫推進事業 (補助：茨城県, 継続) **公益**

口蹄疫等の悪性家畜伝染病に対する防疫対策や組織的な対応が必要な疾病の発生防止対策を推進し、地域自衛防疫体制の充実・強化を図りました。

(3) 衛生体制強化基金事業 (補助：中央畜産会, 継続) **公益**

自衛防疫推進会議に併せブロック会議を開催し、牛及び豚の予防接種を推進しました。

(4) 家畜防疫互助基金支援事業 (補助：農畜産業振興機構, 継続) **公益**

豚コレラ・口蹄疫・アフリカ豚コレラ・牛疫・牛肺疫の発生による畜産経営への影響緩和のため、生産者への事業加入促進を図りました。

(平成 28 年度家畜防疫互助事業加入状況)

対象農家	加入戸数	加入頭数
酪農家	229 戸	18,215 頭
肉牛農家	399 戸	46,242 頭
養豚農家	170 戸	424,202 頭
合 計	798 戸	488,659 頭

(5) 馬飼養衛生管理特別対策事業 (受託：中央畜産会, 継続) **その他**

地域における馬飼養衛生管理体制の整備を図るため、委員会の開催や馬飼養者等を対象に講習会を開催し、乗用馬等の獣医療実態調査を行いました。

ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

- ・平成 29 年 1 月 26 日 土浦市 参加者 9 名

イ 馬飼養衛生管理技術講習会

・平成 29 年 1 月 26 日 土浦市 参加者 39 名

「馬の皮膚病の診断・治療・予防について」

ウ 地域馬獣医療実態調査

馬飼養者に対して、衛生管理の概念や飼養馬の疾病予防に関する認知度及び獣医療の実態について調査を行いました。

・調査戸数 25 戸

(6) PED まん延防止体制支援促進事業

(受託：中央畜産会，新規) その他

県内における豚流行性下痢 (PED) のまん延を防止するため、推進会議の開催と獣医師による衛生管理点検指導を行いました。

・推進会議の開催

平成 28 年 8 月 22 日 水戸市 参加者 9 名

・PED まん延防止衛生指導

農家戸数 68 戸 指導回数 延べ 187 回

(7) 自衛防疫体制強化推進事業

(受託：家畜衛生対策推進協議会，継続) その他

ア 地域自衛防疫活動推進対策

口蹄疫等の発生時に、迅速かつ的確な防疫措置が講じられるよう、県内 4 地域において防疫演習を行い、初動防疫体制の充実・強化を図りました。

期 日	場 所	参加者
平成 28 年 10 月 6 日	水戸市	104 名
平成 28 年 10 月 6 日	鉾田市	83 名
平成 28 年 10 月 13 日	筑西市	92 名
平成 28 年 11 月 2 日	土浦市	66 名

イ 慢性感染症清浄化支援対策

モデル農場において牛白血病拡大防止のための衛生管理対策を実施しました。

・検査頭数 18 頭

ウ 飼養衛生管理基準啓発推進対策

農場の飼養衛生管理基準の徹底・啓発を図るため、養豚・養鶏生産者に対して説明を行いました。

・開催 7 月 27 日 土浦市：ホテルマロウド筑波 参加者 63 名 (養豚)

8 月 26 日 水戸市：茨城県 J A 会館 参加者 12 名 (養鶏)

2 家畜の疾病予防対策を推進する事業

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

(補助：農林水産省，継続) 公益

ア ヨーネ病清浄化対策事業

牛のヨーネ病まん延防止並びに早期清浄化のために飼養者が自主的に行う検査経費に助成しました。

・検査頭数 581 頭 実施戸数 延べ 6 戸

イ 牛白血病対策事業

牛白血病の感染拡大を防止するため、発生農場での重点的な抗体検査や共同放牧場での抗体検査及び吸血昆虫の駆除対策等を支援しました。

・検査頭数 272 頭 証明書発行数 19 件

・吸血昆虫の駆除対策数 1 牧場

ウ 牛ウイルス性下痢・粘膜病

牛ウイルス性下痢・粘膜病の清浄化を推進するため、発生農場等の重点的な検査、持続感染牛のとう汰等を支援しました。

・検査件数 5 件

・持続感染牛のとう汰 6 頭

エ オーエスキー病清浄化対策事業

(ア) ワクチン接種推進対策

豚のオーエスキー病清浄化のため、陽性豚を全頭とう汰し、ワクチンを全頭接種を実施した農家に対して奨励費を交付しました。

・接種頭数 128,275 頭 40 戸

うち補助対象頭数 23,238 頭 5 戸

(イ) 感染豚とう汰促進対策

豚のオーエスキー病の清浄化を促進するため、感染が確認された繁殖豚の計画的なとう汰に係る経費に助成しました。

・感染豚とう汰頭数 172 頭 対象戸数 11 戸

(ウ) 清浄種豚流通促進対策

豚のオーエスキー病のまん延を防止するため、種豚生産農場(6 戸)に対して清浄性確認と販売豚の抗体検査を行い、陰性証明書を発行しました。

・検査頭数 230 頭 陰性証明書発行数 31 件

オ 農場飼養衛生管理強化・疾病流行防止対策事業

飼養衛生管理の向上のため、生産者が自主的に指定獣医師等による衛生指導を受けるための調査を行いました。また、吸血昆虫が媒介するアカバネ病と牛異常産の予防のため、生産者による組織的なワクチン接種を実施しました。

・調査指導戸数 牛飼養農家 232 戸 豚飼養農家 18 戸 鶏飼養農家 5 戸

・予防接種頭数 アカバネ 5,491 頭 牛異常産 3 種混合 3,018 頭

カ 予防接種事故対策事業

予防接種が原因での、家畜事故はありませんでした。

(2) 伝染性疾病発生予防事業 (単独, 継続) **公益**

牛の伝染病発生予防のため、イバラキ病、牛クロストリジウム感染症3種混合及び牛伝染性鼻気管炎の5種混合の予防接種を実施しました。

- ・牛クロストリジウム感染症3種混合 228頭
- ・牛伝染性鼻気管炎5種混合 875頭
- ・イバラキ病 398頭

(3) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 (受託: 中央畜産会, 新規) **その他**

乗用馬等に対する馬インフルエンザと、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎の予防接種を行いました。

- ・馬インフルエンザ 232頭
- ・馬鼻肺炎 延べ3頭

(4) 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業 (受託: 中央畜産会, 継続) **その他**

馬伝染性貧血の清浄化を図るため、定期検査対象外の愛玩馬等の飼養・衛生状況実態調査を行いました。

- ・調査戸数 7戸

(5) 育成馬等予防接種推進事業 (補助: 中央畜産会, 継続) **その他**

馬生産育成地において、軽種馬の安定的生産を図るため、育成馬の予防接種に要する経費を助成しました。

(育成馬の予防接種)

対象	予防接種名	頭数
1歳馬	3種混合補強接種	2頭
	インフルエンザ補強接種	15頭
2歳馬	3種混合補強接種	62頭
	インフルエンザ補強接種	179頭
	日本脳炎補強接種	39頭
	2種混合基礎接種	79頭

(6) 飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業 (受託: 中央畜産会, 新規) **その他**

改正された「飼養衛生管理基準」を周知・徹底させるため、委員会の開催や普及説明会を開催しました。

開催	場所	参加者	備考
3月3日	水戸市：県北家畜保健衛生所	31名	県北地域
3月8日	筑西市：明野公民館	25名	県西地域
3月9日	鉾田市：鉾田合同庁舎	16名	鹿行地域
3月14日	土浦市：土浦合同庁舎	27名	県南地域
3月23日	土浦市：ホテルグリーンコア土浦	63名	養豚
3月24日	水戸市：茨城県JA会館	13名	養鶏
3月27日	茨城町：JA全農農機総合センター	74名	肉用牛

3 畜産物の安全性を確保する事業

(1) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業 (補助：農林水産省, 継続) 公益

BSE対策特別措置法に基づき、48か月齢以上の死亡牛のBSE検査を推進するため、農家への広報活動や死亡牛の輸送費及び検査費を助成しました。

ア 死亡牛検査処理安定化対策事業

BSE検査を円滑に実施するため、県内で死亡した対象牛について、死亡場所から化製場までの適正な管理輸送にかかる経費を助成しました。

- ・死亡場所からBSE検査センターまでの輸送頭数 765頭
- ・BSE検査センターから県外化製場までの輸送頭数 1,330頭

イ 死亡牛検査支援対策事業

県が実施するBSE検査に要する経費のうち、農家が負担する経費について助成しました。

- ・BSE検査頭数 1,330頭

(2) 農場 HACCP 認証普及推進支援対策事業 (受託：中央畜産会, 継続) その他

農場 HACCP システムの取組を推進するため、コーディネーターによる農場の指導経費を支援しました。また広範的な普及を図るため、取組農場との意見交換会や研修会を開催しました。

- ・指導農場数 3農場
- ・農場意見交換会開催
 - 平成28年11月29日 指導農場にて HACCP 認証審査に向けた取組
 - 平成28年12月8日 指導農場にて HACCP 推進状況と認証計画
- ・研修会開催
 - 平成29年2月7日 茨城県農業共済組合連合会会議室 30名参加
 - 農場 HACCP の説明と神奈川県の実例紹介

Ⅲ 家畜・畜産物の価格補償を行う事業

1 子牛等の家畜販売に係る価格補償を行う事業

(1) 肉用子牛生産者補給金交付事業 (補助：農畜産業振興機構・茨城県, 継続) 公益

肉用子牛農家の経営安定を図るため、肉用子牛生産者補給金制度に基づき、肉用子牛生産者補給金交付事業を効率的に実施しました。

・契約生産者戸数 386 戸

ア 肉用子牛生産者補給交付金交付事業

今年度は子牛価格が1年を通して高値で推移したため、補給金の交付はありませんでした。

イ 肉用子牛生産者積立助成事業

肉用子牛生産者補給金の財源として、協会が積み立てる生産者積立金について、その一部に充てるための助成を受けました。

農畜産業振興機構助成金：生産者積立金の2分の1以内

茨城県助成金：生産者積立金の4分の1以内

(個体登録実績頭数)

種 別	頭 数
黒毛和種	2,810 頭
黒毛和種及び褐毛和種以外の肉専用種の品種	2 頭
乳用種の品種	1,703 頭
肉専用種と乳用種の交雑の品種	5,358 頭
合 計	9,873 頭

注) 事業実施期間 平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 (補助：農畜産業振興機構, 継続) 公益

補給金制度の適正な実施を図るための調査・指導、肉用子牛取引情報の収集をするとともに、協会の運営体制の強化等を行いました。

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度に係る事業執行を的確に実施するため、統一電算システムを利用して肉用子牛に係る一連の事務と、家畜市場における肉用子牛の取引情報の収集と報告並びに事務委託先・契約生産者との事務手続き等についての点検、調査及び指導を実施し、業務の的確で迅速な処理体制を整備強化しました。

イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度を円滑に推進するため、協会の運営体制の強化を図りました。

(3) 肉用子牛生産者補給金交付事業事務 (単独：継続) 公益

肉用子牛生産者補給金交付事業を実施するための事務を行いました。

(4) 肉用牛繁殖経営支援事業 (補助：農畜産業振興機構, 継続) **公益**

肉用子牛生産者補給金交付事業の補完事業である本事業への加入促進と加入申請の事務を行いました。

- ・参加戸数 311 戸

2 枝肉等の畜産物に係る価格補償を行う事業

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業 (補助：農畜産業振興機構, 継続) **公益**

肥育牛の枝肉価格及び素畜価格の変動により肥育牛1頭当たりの粗収益(全国平均)が生産費(全国平均)を下回った場合、その差額の8割を限度とし補填金を交付しました。

- ・肥育牛契約生産者数 179 戸
- ・肥育牛個体登録状況(平成28年4月～平成29年3月)

種 別	頭 数
肉専用種	12,377 頭
交 雑 種	8,003 頭
乳 用 種	3,591 頭
合 計	23,971 頭

- ・肥育牛補填金交付状況

時 期	種 別	頭 数	金 額
平成28年2月期～平成29年1月期 (月毎交付)	肉専用種	0 頭	0 円
	交 雑 種	711 頭	4,408,200 円
	乳 用 種	2,056 頭	90,292,500 円
合 計		2,767 頭	94,700,700 円

(2) 肉用牛肥育経営安定特別対策推進事業 (補助：農畜産業振興機構, 継続) **公益**

補填金の交付を円滑に行うため、契約者や事務委託先などの指導や必要な事務処理を行いました。

(3) 肉用牛肥育経営安定特別対策推進事業事務 (単独, 継続) **公益**

肉用牛肥育経営安定特別対策事業を実施するための事務を行いました。

(4) 養豚経営安定対策事業申請等事務 (単独, 継続) **収益**

肉豚生産者の依頼を受け、養豚経営安定対策事業に係る申請事務等を行いました。

- ・契約生産者数 51 戸
- ・対象頭数 96,297 頭